

邑(むら)の映画会実行委員会は、群馬県の「映像教育」の発展を目指し、世界で製作された多様な映画作品の上映活動を行っています。上映会を通して、子ども、大人たちが夢をふくらませ、映像によって心豊かな感性が育めることを願っています。



アリちゃん

1942年/日本/11分/35mm
白黒
監督/瀬尾光世

ありのこどものアリちゃんは、コオロギの家のバイオリンがほしくてたまりません。とてもいい音がするからです。月夜の晩、秋草のなかをうかれて走り回るアリちゃんは、バイオリンをもってきてしまいます。ながれるオーケストラの音楽にのって、白黒の絵が、うごくよ。初の多層撮影、日本のアニメーション映画の傑作です。



ポロンギター

1959年/日本/28分/35mm
カラー
監督/小野 豪

どこからやってきたのか、ポロンギターとおじいさん。「お花が売れないわ」と、小さな花売りむすめがいます。と、どうでしょう。ぼろんぼろんと曲をかなでて、くるくるくる。ギターがおどる。町中の光があたたかい。ギターのしらべにのって、人形が、うごくよ。学校や地域で子どもに盛んに映画を上映したころの、ステキな作品です。



ライオンと歌

1959年/チェコ/19分/35mm
カラー
監督/ブジェチスラフ・ボヤル

アコーディオンをひきながら、おどりながら、さばくを旅するたのしい楽師。ライオンが、ぼっくん、楽師をのみこんだ。ところがアコーディオンは、ライオンのおなかのなかでもなりつづけるのです。リズムにのって、動物や人形が動くよ。いろいろなことを想像してね。アヌシー国際アニメーションフェスティバルグランプリ受賞です。



手

1965年/チェコ/19分/35mm
カラー
監督/イジー・トルンカ

手は、いろいろなことをするね。もったり、さわったり、つくったりもする。大きな「手」がお花の大好きな職人に、おれの手を銅像をつくれと命令する。でもそんなものはつくりたくない。見て、考えて、映画ってふしぎ。いろいろな見方ができる。川本喜八郎監督がチェコに渡り脚本したトルンカ監督の短編アニメーション映画の傑作、遺作です。



有りがたうさん

1938年/日本/78分/35mm
白黒
監督/清水 宏

乗り合いバスがやっと伊豆半島を行き来するようになった。バスが通ると、みんながよけて、道をあけてくれる。バスの運転手(上原謙)は、そのたびに「ありがとう」「ありがとう」と手を上げてこたえる。その言葉がミュージカル映画のようにやさしく、浮き立つようにこころに響く。広くは知られていないが、日本映画の傑作である。

講演

「映画は、こころやさしいものです」

人を殺したり、殴ったりする映画やテレビドラマ、ゲームがいっぱいある。でも、映画の原理はもともと、こころやさしいものです。人の姿を見つめる、それを画面でとらえて感じ、考えるのですし、人が生きてそこにいるということが、なによりも大前提。「ある」「在る」ものを肯定する、受止める、そういう受容こそが、出発だからです。



邑の映画会顧問 映画監督 小栗康平

プロフィール

1945年前橋市生まれ。早稲田大学第二文学部演劇専修卒。81年の監督第一回作品「泥の河」はモスクワ映画祭銀賞、米アカデミー賞外国語映画賞/ミネートなど高い評価を受け、以後、84年「障子のために」(仏ジョルジュ・サドゥール賞)、90年「死の棘」(カンヌ映画祭グランプリ・カンヌ1990/国際批評家連盟賞)、96年の県人口200万人記念映画「眠る男」(モントリオール映画祭審査員特別大賞)、05年「埋もれ木」(カンヌ映画祭特別上映作品)公開。
著書「映画を見る眼」「時間をほどく」他

主催 □ 邑の映画会実行委員会

協力 □ 芸術文化NPO法人スピリットネットワークぐんま

協賛 □ 館林西ロータリークラブ

後援 □ 邑楽町/邑楽町教育委員会/邑楽町立小中学校PTA連合会/邑楽町立幼稚園PTA連合会/邑楽町立保育園保護者会連絡協議会/風の子保育園保護者会/邑楽町文化協会/邑楽町公民館・おうらヤングプラザ・長柄公民館・各利用団体連絡協議会/群馬県/群馬県教育委員会/館林市教育委員会/板倉町教育委員会/明和町教育委員会/千代田町教育委員会/大泉町教育委員会/上毛新聞社/朝日新聞前橋支局/毎日新聞前橋支局/読売新聞前橋支局/産経新聞社前橋支局/東京新聞前橋支局/NHK前橋放送局/群馬テレビ/エフエム群馬



会場交通案内

東武小泉線中野駅より徒歩5分。北関東自動車道太田・桐生ICより20分。